

# がんセンターたより

## 無料シャトルバス 運行開始しました

相鉄線二俣川駅北口を出て運転試験場方面へ向かう途中に「神奈川県立がんセンター」があります。徒歩 15 分程度の場所ですが、多くの患者さんは、路線バスやタクシーを利用して通院されています。そんな中で今年の 5 月に登場したシャトルバスは、運行開始当初こそ寂しい状況でしたが、日を追うごとにじわじわと利用者数を上げ、6 月下旬にはとうとう“満員”便が出るほどになってきました。すでに、がんセンターの患者さんにはなくてはならない交通手段となっていることでしょう。



現在のところ、時刻表のとおり、午前中 20 分間隔、昼以降 30 分間隔で運行していますが、今後の利用状況により時刻表の改定も視野に入れていますので、がんセンターにお越しになる患者さんと付添者の皆様は、ぜひシャトルバスをご利用ください。

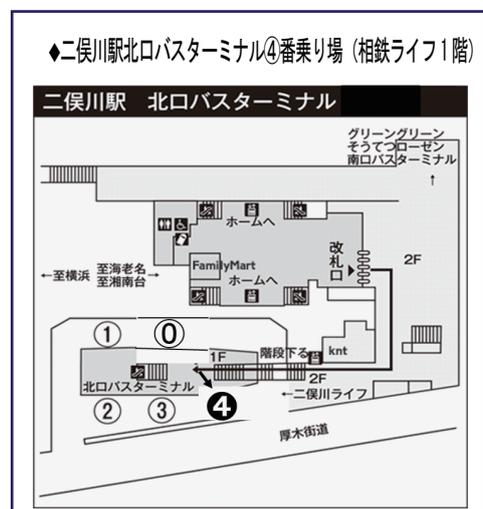
なお、同じ 5 月に駐車場の基本料金を 300 円から 500 円に改定させていただきました。近隣の駐車場料金を考慮した結果ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。



神奈川県立がんセンター無料シャトルバス時刻表

二俣川駅発 がんセンター行き				がんセンター発 二俣川駅行き			
7時	15	35	55	7時	30	50	
8時	15	35	55	8時	10	30	50
9時	15	35	55	9時	10	30	50
10時	15	35	55	10時	10	30	50
11時	15	45		11時	10	30	
12時	15	45		12時	0	30	
13時	15	45		13時	0	30	
14時	15	45		14時	0	30	
15時	15	45		15時	0	30	
16時	15	45		16時	0	30	
17時	15			17時	0	30	

※ご乗車の際に、診察券又は病院からの紹介状をご提示ください。



## がんになるまえ なってから ～がんの早期からの緩和ケア～

がん緩和ケア啓発を目的として、「がんになるまえ なってから」を7月8日（土）にクイーンズスクエア（横浜市西区みなとみらい）で開催しました。NPO 法人 わたしのがん net との共催で行ったこのイベントは、患者会のみなさんのコーラスやオカリ



ナなどの演奏、2つのトークショーを含んだ4時間半にわたるプログラムでした。670人の方にご参加いただき、早期からの緩和ケア、がんに関する情報を得ていくことの大切さをご来場のみなさんと共有し、患者会や相談支援センターを知っていただき、その活用方法について発信する場となりました。（患者支援センター 相談支援担当科長 清水奈緒美）



### 雑誌 - 肝臓 クリニカルアップデート (医学図書出版) 最新刊 企画のご紹介

消化器内科部長  
(兼 院長補佐 兼 治験管理室長) 森本 学

このたび、私が編集委員の一人をしています雑誌「肝臓 クリニカルアップデート」(医学図書出版)の最新刊を企画しましたのでご紹介させていただきます。主に消化器疾患の専門医をめざす若手内科・外科医師向けに、年2回最新情報を提供する雑誌ですが、今回は、「ガイドラインに書いていない肝炎・肝がん診療の最近の問題点」をテーマに、最新のガイドラインをふまえつつ、型通りにいかない実臨床の悩みにお答えする内容を目指しました。

### 伊藤清子副院長が 平成29年度 日本看護協会会長表彰 を受賞しました!



## European Society of Thoracic Surgeons (ESTS)

呼吸器外科 鮫島 讓司

学

会

報

告

Association for Professionals in  
Infection Control and Epidemiology  
(APIC)

感染管理認定看護師 黒木 利恵

**オ**ーストリアのインスブルックで 5 月 28～31 日に開催された European Society of Thoracic Surgeons (ESTS) の 25th Meeting に、中山治彦副院長・伊藤先生・永島先生とともに参加してきました。5 月 26 日に成田を発ち、フランクフルトで乗り継ぎ後、27 日に現地着。インスブルックは 1964 年と 1976 年に冬季オリンピック



を開催したことで知られる風光明媚な観光地で、涼しいと想像していたが思ったより気温が高く、ほぼ一日半袖で過ごせる陽気でした。ESTS は主に肺縦隔および食道の呼吸器外科領域がメインであり、今年は主にヨーロッパ各国や中国・日本などからの報告が多く、多くの日本の学会仲間に遭遇することができた。術前に PD-L1 抗体を用いた治療発表など、多くの最新報告を聞くことができた。伊藤先生は、「Superior sulcus tumor recurred after definitive chemoradiotherapy successfully resected with trans-manubrial and Paulson approach」難易度の高い、放射線化学療法後の手術についてのビデオ発表、永島先生は「Bronchial stump coverage with free pericardial fat pad under thoracoscopic surgery: Evaluation of residual volume on six months after surgery」気管支断端に縫着した心膜周囲脂肪組織の容量の経時変化についての発表を行い、ともに複数の質問を得て的確に答えていました。

6 月 1 日に帰国し、今回得られた知識を実臨床・研究に活かしていきたいと思えます。

**米**国オレゴン州ポートランドのオレゴンコンベンションセンターにて開催された APIC (Association for Professionals in Infection Control and Epidemiology) の 44th Annual Educational Conference は全米から 4,700 名の感染予防担当者が集う。私は米国の医療背景と感染予防対策を把握し、今後の日本の感染予防策の方向性を見出し、臨床現場に役立つ技術や戦略を学ぶ目的で参加した。プログラムで多かったのは、「手指衛生」「環境消毒」「ギャップ分析」「AMR (薬剤耐性)/ASP (抗菌薬支援プログラム)」である。AMR/ASP は日本でも平成 30 年診療報酬改定で感染対策加算要件になると予測される。米国の AMR/ASP は、州政府、CMS 保険サービス、消費者団体が介入する圧力が働く。ギャップ分析を用いた組織的な ASP の実施が数多く発表され、抗菌薬使用量と耐性菌検出が減少する成果があった。抗菌薬使用量が多い医師に対し、感染症治療で必要な支援を管理者面接する病院もあった。手指衛生は、IT 技術で職員が IC カードを着け、手指消毒剤ディスペンサー職員情報を読み取り、個人の手指消毒状況を把握するシステムは興味深かった。地元の大学病院を見学でき、多くの知見を得た出張であった。



写真右：感染管理認定看護師 黒木利恵看護師

# 2017 ★ イベント報告

## ★ 看護の日・看護週間記念行事（5月8日～12日）

ナイチンゲール誕生の日、5月12日は「看護の日」です。がんセンターでは5月8日～5月12日に看護の日・看護週間記念行事を開催しました。看護師によるアロママッサージ、多職種によるポスターセッション、栄養科による治療中の食事の工夫・病院食の紹介コーナー、検査科による検査室でのQ&A・血管を映し出す体験コーナー、薬剤科によるお薬相談など、たくさんの催し物を患者さんやご家族の皆さんに楽しんでいただきました。



毎年大好評のコンサートにも多くの方が参加して下さい、ピアノとバイオリンの優雅な演奏に癒され、楽しいひと時を過ごしました。（看護教育科 塩澤 綾）



## ★ 一日看護体験（7月28日）

7月28日（金）、看護師の役割や仕事への理解を深め、今後の進路を考える機会となることを願って、1日看護体験を開催しました。今年度は高校生や一般の方16名が参加して下さいました。実際に看護師の白衣を着て、看護の現場を見学したり、血圧測定や車椅子乗車、患者さんや看護師とのコミュニケーションなどを体験しました。「とても楽しかったです。」「看護師の仕事は責任と



やりがいのある仕事だと思いました。」「将来看護師になりたいという気持ちが強くなりました。」と、心強い言葉を頂き、皆さんに楽しんで頂けたことを嬉しく思います。いつか看護の仲間としてお会いできることを楽しみにしています。

（看護教育科 塩澤 綾）



## かながわサイエンスサマー 行事

此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此

### 第4回 君もレントゲン博士 7月30日

画像診断と IVR を知ってもらうためのこのイベントも 4 回目となりました。今年は 54 人の応募のうち抽選で 29 名が当選し、7 月 30 日の朝には 25 名の中学生と 20 名の保護者が集合しました。

開会式とミニレクチャーのあと 6 つの班に分かれて X 線・CT・MRI・放射線防護・3D 画像・IVR 6 種の 11 項目を体験しました。IVR で

はコンニャクに埋め込んだ秘密の物質を超音波ガイドで採取して、それが何かをあてるクイズや、プラチナ製の金属コイルを血管モデルに留置するなど楽しく学べるようにしました。

保護者の方にもできるだけ体験していただいたのも好評でした。「ここはお子さんだけ…」というところではがっかりされていた保護者も多かったようです。

4 回目にしてイベントのスタイルも確立できたようです。来年はさらにパワーアップして施行したいと今から考えています。(放射線診断・I V R 科部長 吉田哲雄)



此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此 此

### 染色体に触れてみよう 8月21日

神奈川県が企画する“かながわサイエンスサマー”の一環として、臨床研究所で、中、高生を対象とした科学教室“染色体に触れてみよう”を 8 月 21 日に開催しました。

今年は 20 名の募集に 65 名とたくさんの応募があり、抽選を実施しました。当日は、28 名の参加者に、染色体って何？、染色体って何をしているの？、という初歩的なことから、染色体とがんの関係まで講義をしました。その後、顕微鏡による細胞や染色体の観察、そして、がん細胞株から DNA をとりだす実験を通して、DNA・染色体・遺伝子の理解を深めて頂きました。今年はサポートする研究員を増員したことから、より細かなサポートが可能となり、熱心な質疑応答がいたるところで見受けられ、アンケート結果も大変好評でした。

今回の体験が子供達にとって医学に対する興味を持つきっかけになればと臨床研究所職員一同願っております。(臨床研究所 星野大輔)



## ブラックジャック セミナー (8月5日)

8回目のブラックジャックセミナーを、8月5日土曜日に開催いたしました。例年は月末に開催していましたが、子どもの夏休みの課題にできること、学校の始まる時期から離れることから、月初めに変更いたしました。午前中は子供を連れた顔なじみの職員が、お仕事場の案内がてら体験に来ていました。ご家族ともども喜んでいただけたと思っております。

午後は小5から中3までの45人の子供たちが集いました。毎年人気が高いのですが、今年は応募が80人を超えてしまい、昨年の35人の定員をさらに広げて対応いたしました。今年も幅広い診療科に応援を求め、呼吸器外科、呼吸器内科、消化器外科(胃食道、肝胆膵、大腸)、婦人科、泌尿器科、放射線治療科、看護局にお手伝い頂きました。縫合実技、内視鏡手術、自動縫合器使用体験、超音波メス体験、手術室での手術体験、AED使用と蘇生実習、重粒子加速器見学に加え、今回は初めて、看護教育科のフィジカルアセスメントモデル(Physiko)をお借りして、聴診実技を行いました。最初は緊張した面持ちだった子どもたちですが、すぐに笑顔と驚きの声に変わりました。引率の親御さんたちからも多くの質問とともに、このセミナーは素晴らしいと、驚きと感謝の言葉を頂きました。病院の実力の一端を示すことができたと思っております。お手伝いいただきました方々に、この場を借りて御礼申し上げます。(呼吸器外科部長 伊藤宏之)

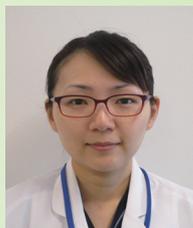


## 新任医師の紹介

職員の異動(平成29年6月以降の転入者)がありましたのでご紹介します。  
よろしくお願ひします。



消化器外科  
医長  
熊頭 勇太



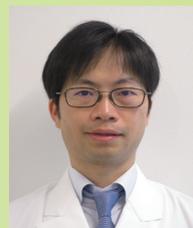
循環器内科  
医師  
山田 なお



消化器外科  
医師  
長澤 伸介



消化器外科  
医師  
四元 宏和



レジデント(31期生)  
医師  
片岡 幸三



平成 28 年度

# 患者満足度調査結果の報告

平成 28 年 10 ～ 11 月に、患者さんへの満足度調査を実施いたしました。

入院患者さんには、10 月 31 日（月）～ 11 月 11 日（金）の 2 週間で、600 名の方にアンケート調査票を配布し、291 名の方から回答をいただきました。

外来患者さんには、10 月 31 日（月）及び 11 月 2 日（水）の 2 日間で、1,000 名の方にアンケート調査票を配布し、955 名の方から回答をいただきました。

病院全体の評価は、入院が外来より満足度が高い結果となりました。

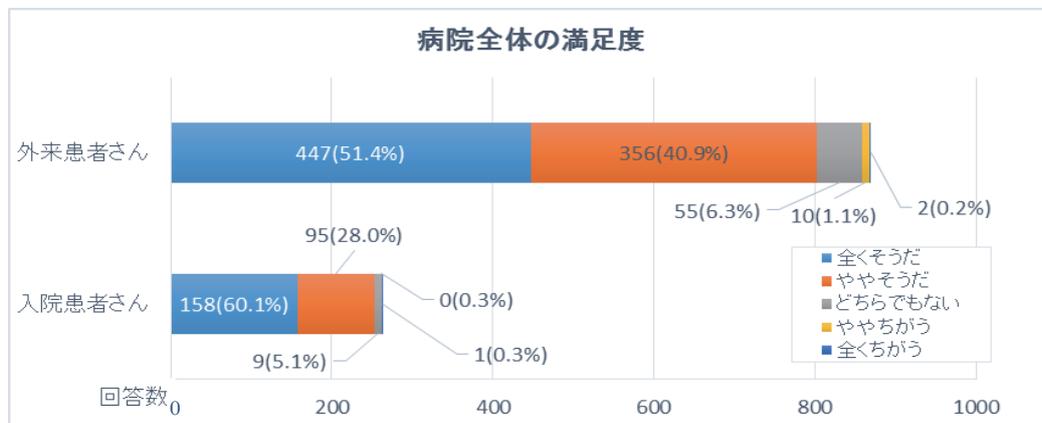
調査項目別では、外来における検査、入院中の診療や医療スタッフについては概ね満足はいただきましたが、診察までの待ち時間などの診察前に関することや外来会計については十分に満足いただけていない結果となりました。

アンケート調査にご協力をいただいた患者さん、ご家族の皆様にお礼申し上げます。

## 1 病院全体の満足度

「全体的としてこの病院に満足している」の設問に、「全くそうだ」、「ややそうだ」と回答した割合は、入院患者さんが 96.2%、外来患者さんが 92.3% と高い結果となりました。

※ 回答数は、アンケート調査票を配布し、有効な回答として回収した数。



## 2 病院全体の評価（最大値：10 点）

項目	外来	入院
病院に満足している	7.1	7.8
病院を信頼している	7.3	8.1
家族、知人に勧めたい	6.7	7.3
医療サービスを高めるために、努力し向上している	6.8	7.4

## 3 患者満足度調査項目別集計結果（最大値：10 点）

項目	満足度
<b>外来</b>	
診察前（紹介、待ち時間、待合室環境）	5.4
診察や医療スタッフ（医師の診察、看護師の説明・処置）	6.5
検査（尿検査、血液検査、CT、MRI、レントゲン、処置・説明）	7.3
施設・設備・情報提供（診察室、院内設備、がん相談、情報提供）	5.7
会計（順番が公平・長く待つ、請求書、職員対応、自動清算機）	4.7
総合評価（病院全体）	6.8
<b>入院</b>	
入院時の説明等（医師説明、入院手続き、入院中生活説明）	6.3
入院中の診療や医療スタッフ（医師の説明・診療、看護師の説明・処置、介助等）	7.3
入院中の具体的な治療（検査、薬剤師・栄養士の説明・指導、手術、リハビリ）	6.9
施設・設備・情報提供（トイレ・浴室、病室内環境、エレベーター・階段、食事、がん相談等）	6.4
退院（退院説明、会計）	6.1
総合評価（院内仕組み、病院全体）	7.6

※満足度の考え方

各設問の回答項目「まったくそうだ」、「ややそうだ」、「どちらでもない」、「ややちがう」、「まったくちがう」の回答者数に対し、それぞれ 10 点、5 点、0 点、-5 点、-10 点を掛け、満足度を回答数で割った平均の数値。

## がん看護専門看護師

### 看護教育科 大政 智枝

私は、「がん看護をもっと深く学びたい」と思い、組織のサポートを受けながら武蔵野大学大学院に進学しました。卒業後、看護教育科に所属し継続教育や看護学生の実習を通し、自部署を超えた教育活動の重要性を改めて痛感しています。サブスペシャリティーは移植看護です。いずれは骨髄移植を受ける患者・家族の看護に携わりたいと考えています。看護の質に貢献しながらすべての看護職員に常にオープンな姿勢で支援していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

### 看護教育科 塩澤 綾

私は、北里大学大学院修士課程を修了し、平成28年にがん看護専門看護師の認定を受けました。サブスペシャリティーは緩和ケア、がんサバイバーシップです。専門看護師としてはまだまだ未熟ですが、これから様々な体験を通して、柔軟に対応できるがん看護専門看護師を目指していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひ致します。

## ★ボランティア会 ランパス★ による 9月・10月・11月 木曜ミニコンサート予定表

時間：午後2時～（約30分）



9月 7日	ピアノ	須田 美穂
9月14日	ピアノ連弾	上月 早苗 井上 真記子
9月21日	ピアノ	佐藤 良美
9月28日	琴アンサンブル	箏結会
10月 5日	ピアノ	神谷 ゆりえ
10月12日	声楽	丸山 千佳子
10月19日	声楽	岡野 雅代
10月26日	声楽	高津 佳
11月 2日	ピアノ連弾	小笹 千里 斉藤 香
11月 9日	フルート	市毛 里香
11月16日	ピアノ	鮫島 明子
11月23日	お休み（勤労感謝の日）	
11月30日	ヴァイオリン	天日 倫代

### 平成29年度（4月～7月）

1日平均患者数（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月
入院	346.5	341.8	352.3	345.3
外来	984.2	986.2	978.7	987.5



本号では当センター主催の子供向けイベントを報告しています。夏の恒例行事に大勢の子供たちの参加をいただき、スタッフ一同お礼申し上げます。手前味噌にはなりますが、どの企画も盛況で、大いに医学・医療に興味を持っていただけたと思います。同時に、未来を担う若者の輝くひとみに職員も十分癒していただきました（感謝！）。少子化時代に伴う労働人口の減少に影響される悲観的な話題が多くみられますが、医療分野に興味を持っていただく機会を子供たちに提供することも、当センターの社会的使命の一つと考えています。（企画情報部長 金森平和）

編集・発行：神奈川県立がんセンター 企画調査室

〒241-8515 横浜市旭区中尾2-3-2

TEL 045-520-2222（代表）

<http://kcch.kanagawa-pho.jp/>

